

第5回 ～家族を歌う～河野裕子短歌賞

池田理代子選

打ち明けてしまえば恋は恋でなく送信決定メールは迷う

徳島県阿南市 小畑 定弘

咲く花のかおりも色もわからない亡妻の文箱の種をまきやる

浜松市南区 大庭 拓郎

かみさんの文箱の色紙星空に飛行機を折り放してやりぬ

浜松市南区 大庭 拓郎

それを幻というのかそうです五十年前の記憶の残っているひとと場所

埼玉県越谷市 梅澤 鳳舞

裏庭の除染はじまる白百合を母の遺影に供えし朝

福島県南相馬市 深町 一夫

木造の校舎にやさしかりし友、友の声あるごとく振り仰ぎたり

京都市中京区 原 秀子

田休みと言ひて繭より紡ぎたる亡母居て今も雨の日が好き

北九州市八幡西区 豊田 光子

最晩年たたんだ如く腰折れて足ばやに人生の幕引きし母

東京都三鷹市 志賀 朋子

すり寄りて「お馬になつて」と強請^{ねだ}る児はずっしり重し嗚呼祖父なのだ

広島市中区 出口 政春

「わたし今日両思ひだとわかつたの」ママにはないしよと十歳の言ふ

兵庫県佐用町 中村 千州代

百歳まで生きよと孫の言ひくるる灯ともす如くアマリリス咲く

大阪市平野区 西田 和佳子

ビワ剥きて夫に差し上ぐ熟せども未熟めきたる種大き実を

大阪府茨木市 礪川 朋美

いいんだよいま決めなくて……漫画家と獣医にゆれる男の子八歳

徳島県徳島市 森本 順子

若葉萌える 並木を通りながら決めた 全て許そう 肩軽くして

仙台市宮城野区 大友 喜恵

田まつりの祝いを持ちてバスに揺れ道乾く果てに姉を待たせり

金沢市 中村 富代

叱られて押入れに眠る子でありし息子がゆるり みどりごを抱く

福岡県筑後市 井寺 容子

一つ家に譲れぬ思ひ抱へみて怒り持つ子は無言をとほす

岡山県和気町 高原 晴子

不器用な言い訳ぼつり君からのさよならでした石ひとつ蹴る

香川県善通寺市 山地 久美

「もも組になるの』なる』ってどういうこと？お顔変わらない？」「うん、変わらない」

東京都杉並区 伊東 澄子

二足歩行へ進化の過程まのあたり吾子の六月這う立つ歩む

千葉県野田市 中山 弘子

暑き日に明治の姑の名の残る鍬洗ひをり溪水の澄む

福井県小浜市 古谷 智子

食前の母の祈りは長かりきひたすら待ちぬ今もむかしも

長崎県大村市 大小路 悦子

世のならい一步はみだす君がすきふわりふわりとホタルのような

山梨県富士川町 加賀美 公

「桃色のソックスください。リボンもね。」五歳の息子の秘密は言はず

埼玉県和光市 中門 和子

あじさいの花咲き盛るかかる日に老母は私^{はは}の名を忘れたり

兵庫県宝塚市 山本 洋子

乳飲子が泣けばわが胸つんと張り身体もろとも母になりたる

兵庫県高砂市 鈴木 裕子

「生きづらい」と子は言ひ変へて片蔭の運転席にサングラス外す

千葉県山武市 立川目 陽子

諍いに気力つづかぬ年齢^{とし}となり黙す夫にもお茶淹れて出す

岩手県一関市 貝沼 正子

とほき日に兄と巡りし飛鳥路の宿の夕餉は乳の入る鍋

神奈川県鎌倉市 鎌田 澄子

目覚むればうからの拍手の聴こえて術後のベットに息するわれか

京都府舞鶴市 新谷 洋子

母さんはおまえの知らない物語抱えて生きる女でもある

沖縄県宜野湾市 島袋 香代子

夫を今朝見送る空に浮く雲の小さく別れ小さく出会う

東京都世田谷区 楊井 裕美

手をあらつておやつをたべてねのすぐ下に「いえでをします」と末の子の文字

東京都墨田区 佐藤 佳子

制服のズボンの丈を六センチ伸ばして孫は中一となる

徳島県阿南市 坂東 典子

夜を通し出産終ゆる乳牛ちちうしにビールの大瓶飲ましゐる亡母はは

兵庫県加古川市 井上 たつ子

立てこもるように読書をする児なり心に荒き波の立つとき

堺市南区 丸野 幸子

「ぼくはもう母さんの手はいらない」と腕組みする子の補助輪外す

堺市堺区 中野 千尋

何鳥の目をせるわれか鈎爪を繰るやうに孫の帽子編んでる

奈良市 岡林 孝子

まなざしに君のためらい見えたからもう少しだけ夕陽を見ている

福岡県久留米市 加藤 三知乎

わんわんと雪の舞い交かう大寒に瀬を渡るらし父を見送る

東京都多摩市 田村 一男

第5回 ～家族を歌う～河野裕子短歌賞

俵 万智 選

咲く花のかおりも色もわからない亡妻の文箱の種をまきやる

浜松市南区 大庭 拓郎

一本のカーネーションを母の日にぬつと差し出す少年でした

秋田市 加藤 トシ子

裏庭の除染はじまる白百合を母の遺影に供えし朝

福島県南相馬市 深町 一夫

「元気でね」父も母も同じ事言うようになり私は寂しい

川崎市中原区 松浦 元子

病む妻にかはりて家事をこなしをり誕生日さへわすれしままに

福岡市東区 能塚 節男

リビングの会話を聞きて育ちたる幸福の木の伸びる早さよ

愛知県半田市 稲葉 游遊子

核の無き世界は斯くの如くなるべしと話せる家族でいたい

名古屋市昭和区 志村 紀昭

おはようと遺影の夫に声かけて我の一人の今日を始める

東京都府中市 広田 滯子

ころころと転がし穀剥く君の手で初めましてと笑む茹で玉子

京都市上京区 中村 亜希子

我が吾子は何者でもない時期^{とき}を過ぎ名刺の中の何者かになる

京都府宇治市 永濱 美智子

帰宅した妻の両手にレジ袋検査結果の良きと思へり

大阪府茨木市 田中 光夫

触れゆける頬も手足も温かな母がいること今があること

沖縄県今帰仁村 大城 和子

参観日はいつも和服の母でした譲り受けたる古代紫

兵庫県宝塚市 近森 起久子

湯はぬるめご飯はかため子の家の家事任せられ 夕日が匂う

兵庫県宝塚市 近森 起久子

淡路島に帰省をすればメモありて今日稲刈りの田圃に来てと

大阪府八尾市 阿部 幸

基本的母のメールは無視します平成生まれあっさりと言う

京都府城陽市 下岡 昌美

もう父と呼び得る人はいなくなり息子の父のあなたを祝う

兵庫県西宮市 甲斐 直子

散華せし兄の遺品に書きかけの小説らしきメモのありたり

宇都宮市 上田 ミサヲ

君からの電話はいつも父が出てぶっきらぼうにわれと代わった

大阪府摂津市 頭本 信代

娘の手孫の手握り「家族ってやわらかいね」と母は微笑む

兵庫県川西市 木内 美由紀

前に行く孫はうしろをふり返り我をたしかめたしかめ進む

千葉県市川市 境 泰子

叱り過ぎたかしらとそつとうかがへば宿題をしてゐる歌うたひつつ

秋田市 篠田 和香子

「オレオレ」と言わず「ハロウー」と掛けてくる息子の電話深意あるべし

山口県岩国市 浜田 美恵子

デイ終えて帰り来し母午後五時に迎えて長き一日の始まり

兵庫県西脇市 野添 一男

心平の春の詩音読する孫はイヌノフグリを知らないという

京都市右京区 高橋 よしこ

ありがたうを素直に言へる息子なり嫁ごにわたしに小さい息子に

兵庫県尼崎市 大田 眞澄

諍いに気力つづかぬ^{とし}年齢となり黙す夫にもお茶淹れて出す

岩手県一関市 貝沼 正子

母さんはおまえの知らない物語抱えて生きる女でもある

沖縄県宜野湾市 島袋 香代子

暑き日に熱きうどんを喰ひたがる男の子に葱をざくざく刻む

京都府亀岡市 児嶋 きよみ

旧姓を持てる妻なり自転車の後ろを光らせひととき走れ

滋賀県甲賀市 幅尾 茂隆

夏空にパジャマ五組が揺れているきつと今夜は西瓜が出るな

埼玉県所沢市 横井 文恵

名前でも考えながら地平線みつめていると思ってくれよ

埼玉県和光市 岩崎 雄大

子ら帰る廊下の奥に風呂の湯気に日常がしんと立ちてゐるなり

鹿児島県奄美市 浜田 ゆり子

「引きこもり」四年過ぎたる息子の作る焦げチャーハンの昼飯うまし

米国ハワイ州 新谷 優子

「だいすきなぱぱ」と娘に言われたら獅子のごと笑むつもりではある

東京都小金井市 中村 哲

うたたねに握るペンふとすべり落ち夫はうしなふあさき眠りを

名古屋市千種区 朝羽 いむ

一歳の誕生日にと贈られぬ孫は「正しく歩ける」靴を

奈良市 岡林 孝子

ぜったいにむかえに来てねと吾子のいうそのぜったいに生かされている

兵庫県西宮市 山下 恵理子

第5回 ～家族を歌う～河野裕子短歌賞

永田和宏 選

打ち明けてしまえば恋は恋でなく送信決定メールは迷う

徳島県阿南市 小畑 定弘

一本のカーネーションを母の日にぬつと差し出す少年でした

秋田市 加藤 トシ子

「元気でね」父も母も同じ事言うようになり私は寂しい

川崎市中原区 松浦 元子

洗濯物干すを手伝ひつつ孫が「ちよつと春気分やなあ」ですつて

兵庫県川西市 福井 順子

よくぞまあお嫁にもらつてくれましたと言ふか言はぬか今さらながら

兵庫県川西市 福井 順子

母逝きて二十年後も父の書く手紙の結びはいつも父母より

栃木県高根沢町 小池 芳子

君と呼ぶ人ある温み感じおり折り鶴折って重ね合わせる

兵庫県南あわじ市 荒川 としみ

あさがほの支柱に網を張りくるるあなたがこれほど優しくなるとは

青森県五所川原市 千葉 育子

児らふたりどちらが追いて追われるかわからなくなりバターになりそう

秋田県湯沢市 村田 磨理子

ばあさまの摘みし天草干しゆけば浜に広がるむらさきのいろ

兵庫県伊丹市 大地 たかこ

酒に酔い乱れて帰ることのなし息子よそれでいいのだ お帰り

島根県出雲市 太田 ミチ子

「長良橋で日傘飛ばされ」フフと笑う寝たきりの姑デートの思い出

岐阜市 小島 清子

義姉と吾がいさかひ荒き日は過ぎて風鈴草の花を言ひあふ

埼玉県深谷市 強瀬 忠昭

異動記事ループでたどれば呼び慣れし旧姓のままの君に出逢えり

神奈川県横須賀市 渡辺 昭宏

湯はぬるめご飯はかため子の家の家事任せられ 夕日が匂う

兵庫県宝塚市 近森 起久子

いいんだよいま決めなくて……漫画家と獣医にゆれる男の子八歳

徳島市 森本 順子

くちなしの花が咲いてたそれだけの記憶が残る君との出会い

長崎県諫早市 峰 由美子

車窓よぎる秋の青空 君と肩、 肩触れ合えば眠たくなりぬ

大阪府岸和田市 阪西 典子

オレとならいい婆ちゃんになれるぜとあの時言ったねあれから何年

北海道長沼町 水越 和恵

不器用な言い訳ぼつり君からのさよならでした石ひとつ蹴る

香川県善通寺市 山地 久美

君からの電話はいつも父が出てぶつきらぼうにわれと代わった

大阪府摂津市 頭本 信代

この店もここでも「昼飯よく喰った」ビルの間ゆびさし夜をゆく夫

東京都大田区 海野 久美

乳飲子が泣けばわが胸つんと張り身体もろとも母になりたる

兵庫県高砂市 鈴木 裕子

賞味期限切れたるとき二人なりちぐはぐなれど共に居て足る

大分市 津野 律餘

娘の電話つっけんどんに切れたあと母もしたんだこんな思いを

京都府木津川市 清水 恭子

途中よりスピーカーホンに切り替えて息子が吾をばあちゃんと呼ぶ

大阪府寝屋川市 三宮 サダ子

暑き日に熱きうどんを喰ひたがる男の子に葱をざくざく刻む

京都府亀岡市 児嶋 きよみ

われの小言を吐き出すやうにがらがらと大き音たて子がうがひする

岡山市北区 木下 妙子

婿もなき電話ありしが切れて後はたと気付きぬ子の誕生日けふ

大分市 羽田野 とみ

一泊の君の不在が四ヶ月続くだけだと今日を始める

京都市西京区 大井 亜希

夫はまづビール買ひ足す研修を終へて息子が一夜寄るとふ

新潟県新発田市 渋谷 和子

制服のズボンの丈を六センチ伸ばして孫は中一となる

徳島県阿南市 坂東 典子

まだ死なんと待つとるさかい祖母の手が吾の手温める次はいつ来る

東京都足立区 大黒 千加

三十年「お手伝い券」使わずにちいさき吾子の字引き出しの隅

奈良市 橋本 文子

休日のチャイムは間延びしてゐると木下に毛虫とりつつ言ひぬ

奈良県平群町 伊東 文

「遅くなる」ひと言だけのメッセージ「ご武運を」返してやりぬ

兵庫県川西市 栗田 明代

こんにちは さよならまでの時間だけ あなたの笑顔一人占めする

富山市 たが ゆうこ